国立大学法人鹿児島大学広報センター
〒890-8580　鹿児島市郡元 1-21-24
電話　099-285-7035　FAX 099-285-3854
E-mail: sbunsho@kuas.kagoshima-u.ac.jp

NEWS RELEASE　（2026 年 11 月 6 日）告知依頼

令和８年度レジリエント社会・地域共創シンポジウム

「大地震に備える～災害事例から学ぶ～」開催のお知らせ

報道機関　各位

鹿児島大学地域防災教育研究センターでは、令和 8 年度レジリエント社会・地域共創シンポジウム「大地震に備える　～災害事例から学ぶ～」を開催いたします。

今年 7 月末に発生した令和 8 年熊本地震をはじめ、近年、全国各地で大規模な地震災害が相次いでいます。本シンポジウムは、これまでの災害事例から得られた知見や課題を共有し、今後想定される大規模地震への備えについて考えることを目的としています。

皆さまへ告知のほど、よろしくお願いいたします。

【シンポジウム概要】

日時　：　令和 8 年 12 月 19 日（土）13 時 00 分～16 時 25 分（開場 12 時 30 分）
場所　：　鹿児島大学稲盛会館キミ＆ケサメモリアルホール（鹿児島市郡元１丁目２１番４０号）
対面と Zoom によるオンライン同時開催
対象　：　どなたでもご参加いただけます。
参加費：無料

第 1 部では、能登半島地震における被害の実態や社会基盤施設への影響、トカラ列島の群発地震活動、熊本地震への支援と災害対応について、各分野の専門家がそれぞれの立場から調査結果や取り組みを紹介します。

第 2 部では、「大地震に備える　～災害事例から学ぶ～」をテーマに、講演者や自治体関係者によるパネルディスカッションを行い、災害から得られた教訓や課題を共有するとともに、今後の防災・減災対策について意見交換を行います。

また、会場では火山・津波の VR 体験や熊本地震のパネル展示、避難所運営ゲーム（HUG）など、さまざまな展示・体験コーナーを設けます。

本シンポジウムを通じて、地震災害への理解を深めるとともに、大学、行政、関係機関及び地域住民が連携し、地域防災力のさらなる向上を目指します。

【プログラム内容】

第一部

13:00～13:10　開会挨拶　主催者挨拶　　鹿児島大学長　井戸　章雄

来賓挨拶　　国立大学協会　常務理事　村田　善則

13:10～13:40　「能登半島地震被害から地震防災を考える」

鹿児島大学総合教育機構共通教育センター

准教授　　井村　隆介

13:40～14:10　「能登半島地震にみる社会基盤施設の被害」

鹿児島大学理工学域工学系

准教授　　齋田　倫範

14:10～14:40　「2025 年トカラ列島群発地震活動の調査観測報告」

鹿児島大学附属南西島弧地震火山観測所

准教授　　八木原　寛

14:40～15:10　「熊本地震への支援と鹿児島県の災害対応」

鹿児島県危機管理防災局危機管理防災課

参事　　南野　延寿

15:10～15:20　　休憩

第二部

15:20～16:20　　パネルディスカッション「大地震に備える　～災害事例から学ぶ～」

コーディネーター：酒匂　一成

（鹿児島大学地域防災教育研究センター長）

パネリスト：講演者４名（井村隆介、齋田倫範、八木原寛、南野延寿）、

志布志市総務課危機管理グループ危機管理監　黒川晃

※このほか、会場には写真の展示と体験コーナーを設置

・国土交通省九州地方整備局による火山・津波 VR 体験コーナー

・熊本地震パネル展示

・鹿児島市桜島火山防災リーフレット等、資料コーナー

・鹿児島県によるトイレカーの紹介など

・災害時コミュニケーションツールの展示

・HUG・防災リュック・要介助者用避難時アセット等展示

・大塚製薬によるバランス栄養食紹介・試食コーナー

【お申込み方法】

参加方法：下記ホームページのお申込みフォームからお申し込みください。

▶https://bousai.kagoshima-u.ac.jp/r8-symposium/

申込締切：12月18日（金）

※天候や自然災害の影響により、日程が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

【問い合わせ先】
鹿児島大学地域防災教育研究センター
特任専門員　髙橋　碧
Email: bousai_tokunin@km.kagoshima-u.ac.jp
Tel: 099-285-3629

フェスタ 国立大学2026

令和8年度 レジリエント社会・地域共創シンポジウム

大地震に備える

～災害事例から学ぶ～







〈第1部〉 講　演　13:10～15:10

能登半島地震被害から地震防災を考える
鹿児島大学総合教育機構共通教育センター　准教授　井村 隆介

能登半島地震にみる社会基盤施設の被害
鹿児島大学理工学域工学系　准教授　齋田 倫範

2025年トカラ列島群発地震活動の調査観測報告
鹿児島大学附属南西島弧地震火山観測所　准教授　八木原 寛

熊本地震への支援と鹿児島県の災害対応
鹿児島県危機管理防災局危機管理防災課　参事　南野　延寿

〈第2部〉 パネルディスカッション　15:20～16:20

大地震に備える ～災害事例から学ぶ～
酒匂 一成（鹿児島大学地域防災教育研究センター長）＆登壇者（4名）、
志布志市総務課危機管理グループ危機管理監　黒川 晃

※このほか、会場には**写真の展示**と**体験コーナー**を設置

- VR 国土交通省九州地方整備局による火山・津波 VR 体験コーナー
- 熊本地震パネル展示
- その他（鹿児島県トイレカーの紹介など）

日　時

令和8年 **12/19(土)**

参加無料　(12:30開場) 13:00～16:25

会　場

鹿児島大学 稲盛会館
キミ＆ケサメモリアルホール
（〒890-0065 鹿児島市郡元 1 丁目 21 番 40 号）

申込締切　12月18日(金)まで　（会場定員 200名）

申込みフォーム

〈お問合せ〉
鹿児島大学地域防災教育研究センター
http://bousai.kagoshima-u.ac.jp
TEL：099-285-7234
E-mail：bousai@kuas.kagoshima-u.ac.jp

主 催：鹿児島大学地域防災教育研究センター
共 催：一般社団法人国立大学協会、鹿児島地方気象台、鹿児島県、鹿児島市、長崎大学グローバルリスク研究センター
後 援：公益社団法人日本技術士会九州本部、NHK 鹿児島放送局、MBC 南日本放送、
KTS 鹿児島テレビ、KKB 鹿児島放送、KYT 鹿児島読売テレビ、南日本新聞社

11 住み続けられるまちづくりを
13 気候変動に具体的な対策を